

会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回国民健康保険運営協議会
開催日時	令和2年7月16日(木) 14時00分から15時00分まで
開催場所	座間市役所5階 5-1会議室
出席者	国民健康保険運営協議会 公益代表 伊藤 正 安海 のぞみ 伊藤 多華 守谷 浩一 被保険者代表 内藤 和美 小泉 聡 大塚 とよ子 橋本 孝一 保険医代表 中村 雄大 渡 潤 永野 芳郎 土井 美穂子 被用者保険等保険者代表 内田 明
事務局	健康部長、国保年金課長、収納対策担当課長、国保係長、給付係長、国保係主事
議 題	1. 令和元年度国民健康保険事業特別会計決算について
資料の名称	資料1 (令和元年度座間市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算書) 資料2 (座間市国民健康保険事業の主要施策)
会議の内容	<p>1 市長あいさつ</p> <p>2 開会、定足数の確認、署名人の指名、事務局職員紹介</p> <p>3 議事 (1) 令和元年度国民健康保険事業特別会計決算について</p> <p style="text-align: center;">【事務局より説明】</p> <p>【会長】 事務局より説明がありました、この件についていかがか。</p>

【委員】

その他一般会計繰入金の見通しについて。

【事務局】

その他一般会計繰入金については減少している。理由としては、平成 30 年度に税率・税額改定を行ったこと、平成 30 年度に都道府県単位化された国保制度改革に伴う公費の拡大、拡充等によるものと考えている。

一般会計繰入金は減少傾向にはあるが、国保税だけでは国保事業費納付金を賄うことができない状況であり、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない。しかしながら、一般会計繰入金の増大は市の一般会計の事業執行にも大きな影響を与えてしまうことから、今後一層収納率の向上に努め、繰入金の削減を図っていきたい。

【委員】

所得階層別の分析が必要ではないかと思うが、この決算においてはどうかを伺いたい。

【事務局】

所得階層別というのは把握できていないが、納税者一人一人に合わせた形で納税相談をする形をとっている。

【委員】

所得階層別というのは出来ている自治体もあるので、工夫をしようってほしいと思う。

【事務局】

勉強しながら対処していきたい。

【委員】

新型コロナの影響による減免制度の状況はどうか。

【事務局】

減免の案内と支払いの猶予について、令和 2 年度の納税通知書やホームページ等で案内している。申請状況についてはかなりの件数が来

ている。

【委員】

オンライン化について伺いたい。

【事務局】

オンライン資格確認等の実施に伴うシステム改修の経費に対して、国庫補助金が交付された。令和3年3月からのオンライン資格確認に向けて昨年度から改修等を開始しているが、詳細についてはまだ申し上げる様なことはないので、説明できず申し訳ない。

【委員】

県への納付金が1億3,000万円余、3.4%減となったが、これは本市のみの状況なのか、県内一様に減額傾向なのか要因等を教えていただきたい。

【事務局】

要因としては被保数が落ちたこと、保険給付費が下がることで納付金が下がる。少子高齢化が進んでいる状況であり、同じ傾向が県内各市あると考えている。

【会長】

議題1については原案のとおりご了承いただけるか。

【異議なし】

4. その他

【事務局】

令和3年度の国民健康保険税については11月頃に県から仮係数が示されるので、国民健康保険事業費納付金の額及び標準保険料率と本市の現行税率と比較検討した上で改定の必要性の有無を見極めたい。

改定が必要と判断された場合は、12月中に運営協議会を開催し、1月の月上旬に本係数が県から示され、改定する場合には諮問、答申の運営協議会を開催する予定となる。

開催日程については、決まり次第連絡させていただきます。

5. 閉会